

兵庫県豊岡市但東町

日本・モンゴル民族博物館年報

第 8 号 (平成16年度)

Annual Report of the JAPAN MONGOLIA Folk Museum

No. 8 (for the fiscal years of 2004)

目 次

I. 平成16年度概要	3
II. 展 覧 事 業	3
1. 常 設 展	
2. 企 画 展	
III. 調 査 研 究 事 業	6
1. 台風23号による被災資料の現状確認調査	
2. 文化財調査委員会の開催	
IV. 資 料 収 集 保 存 事 業	7
1. 寄 贈	
2. 購 入 資 料	
3. 資 料 の 貸 出	
4. 資 料 の 燻 蒸	
5. 文 化 財 標 柱 設 置	
V. 普 及 教 育 事 業	11
1. 出 前 授 業	
2. 普 及 事 業	
3. 「トライやるウィーク」の受入	
4. 講 師 派 遣	
5. 出 版 活 動	
6. 子 ども 放 送 局	

VI. 国際交流事業	15
1. モンゴル国研修生の受入	
2. 職員のモンゴル国派遣	
3. モンゴル国文部科学省より感謝状の授与	
4. モンゴル国、中国内モンゴル自治区に図書を寄贈	
VII. 管理運営	16
1. 組織・職員	
2. 決算の概要	
3. 利用状況	
4. 施設管理	
5. 博物館協力会	
6. 博物館日誌抄	
7. 利用者の声より抜粋	
8. 施設概要	
9. 利用案内	
10. 交通案内	
あとながき	31

I. 平成16年度概要

当館の事業は博物館運営・文化財保護・国際交流の3部門を基本に行っている。

博物館運営として、常設展や企画展などの展示活動、調査研究活動、資料収集保存活動、普及教育活動がある。常設展示はこれまで部分的に変更しており、オープン時と比較すると大きく変化している。

利用者数は近年減少傾向にある。本年度は台風災害の影響で秋季から冬季にかけて来館者が少なかったこともあり、前年度に対し13%の減少となった。

企画展は年間5回の展示を行っており、モンゴルの芸術や但東町の古墳に関するものなどバラエティーに富んだ内容となった。

普及教育活動では、学校教育の総合学習を支援する目的で出前授業を積極的に実施しているが、本年度は兵庫県・京都府・大阪府の学校施設等で44校3316名を対象に行った。博物館教室は夏休み期間など年間28回延べ596名の参加をみた。

文化財関係においては台風災害後の状況調査、栗尾古墳に生ずる樹木の伐採、調査委員会及び文化財パトロールの実施、解説板の設置等を行った。

国際交流関係ではモンゴル国研修生の受け入れ、但東モンゴル友好訪問団への参加などを行っている。また、これまでの博物館活動に対しモンゴル国文部科学省ツァガン大臣から当館に感謝状が贈呈された。

II. 展覧事業

1. 常設展

(1) 常設展の構成

博物館の常設展示は、A棟のたんとうの森、B棟の東アジアの歴史・チベット仏教、C棟のモンゴル草原の暮らしと文化、伝承文化体験交流館の但東の暮らしから構成している。

- ◎ たんとうの森……人工樹林を配し、平安時代の朽ち木仏像5体を展示
- ◎ アジアの歴史……恐竜の卵化石から中国元代までの歴史資料を展示
- ◎ モンゴル草原の暮らしと文化…ゲルと呼ばれる住居を中心に衣食住をテーマ別に展示
- ◎ モンゴル草原のいのり……チベット仏教の寺院を再現
- ◎ 伝承文化体験交流館……昭和30年代の民家の一部を再現、暮らしの道具などを展示

(2) 常設展の追加

模型「遊牧の四季」の展示、また各展示ケース内やシルクロードに展示している絵画等、様々な点で展示資料の交換を行っている。特に本年度は常設展示中の資料を他施設に貸出したこともあり「モンゴルの暮らしと文化」のコーナーを中心に何度か展示を変更した。

(3) 屋外展示

① 屋外展示「ヤギ小屋」の設置

昨年度から屋外にて飼育を開始したヤギの飼育場を整備し、より多くの方に観察してもらえよう飼育場所の整備を行った。ヤギ小屋が完成した後、この飼育場内で2頭の子ヤギが誕生し、子供を中心に多くの方に親しんでもらっている。隣地に設置している竪穴住居や復元古墳と合わせて、来館者により良い環境で学び楽しんでいただけるよう今後も管理を行ってゆきたい。



ヤギ小屋の完成

(4) 職員による解説

当館の職員は現在5名で、来館者の要望に応じて随時解説補助をしている。解説は、数名から10数名程度の団体については各展示室を通して行っているが、20数名以上の団体については通路が狭いこともあり一般的なガイドランスや、各コーナーでの個別的な質問への対応が主体となっている。

2. 企画展

平成16年度の企画展は、「モンゴルの切り絵 トゥルブラム」、近隣の養護学校と共同で開催した「さをり織りの世界」、昨年発掘作業が終了し古墳の移設が完了した「赤坂古墳と但東の古墳」、当館が所有している町内の民具資料を展示した「但東の民具」、北海道アイヌ民族の木彫工芸を紹介する「北の工芸 北海道木彫りの世界～熊のいる風景」などバラエティーに富んだ5回の展示を行った。尚、「北の工芸 北海道木彫りの世界～熊のいる風景」は平成17年8月末までの開催となっている。

(1) 第25回企画展『モンゴルの切り絵 トゥルブラム』

平成16年4月1日～6月15日

66日間（見学者数：8,433人）

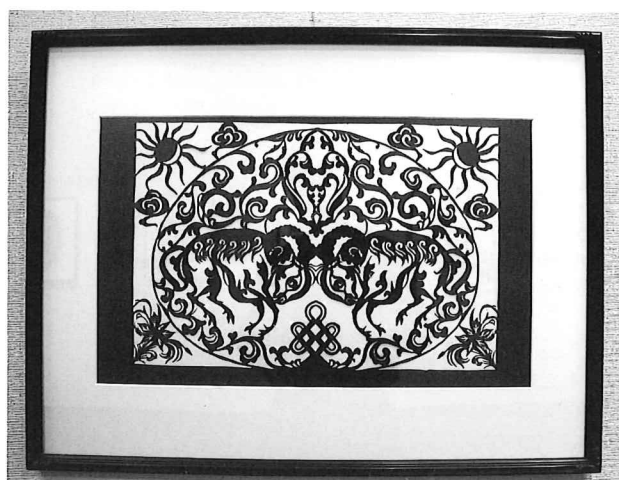
モンゴルでは切り絵は馬具の装飾として生まれ、その後、宗教儀式や飾り、造形美術などに多く用いられてきた。

そうした切り絵の魅力を紹介するため、革新的な感覚と伝統的な技法を併せ持つモンゴルの若手切り絵作家トゥルブラム氏の作品の中から22点を紹介した。氏の作品は手術用のハサミのみで製作され、頭の中にデザインが浮かぶと下書きなどは行わず一気に切り抜く。複雑な文様は見る人にとって様々なものに見えるように工夫されており、一種の「だまし絵」的な要素を含んでいる。極めてデザイン化された複雑な文様の中に躍動感あふれる野生動物が潜んでおり、モノクロームの作品でありながら色彩感さえ漂っている。

また、開催期間中に参加者に切り絵の世界に触れてもらおうと但馬在住の切り絵作家坂田陽一氏を招いてワークショップを実施した。



第25回企画展 展示風景



トゥルブラム氏作品

(2) 第26回企画展

『さをり織りの世界～出石養護学校の取り組み～』

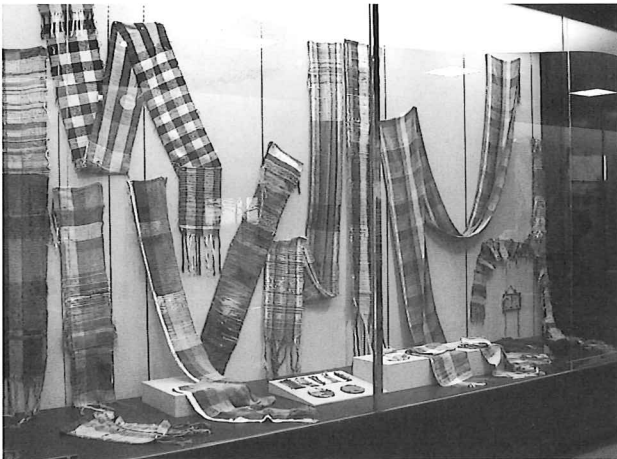
平成16年6月17日～8月3日

43日間（見学者数：2,318人）

但東町の隣町出石町にある県立出石養護学校の依頼により、同校の作品を展示紹介し、その取り組みを様々な方に知ってもらおうと計画した企画展である。「さをり織り」とは様々な色の糸を自由に折り機で織ってゆく平織りの織物のことで、1968年頃から始まった。同校では「作業学習」の一環として19年前から取り組まれている。誰にでも比較的簡単に製作でき、製作者の個性や気持ちが色濃く反映されるこの織物は、衣服をはじめティッシュケースやコースターなど様々な製品に加工され、使用されている。



第26回企画展 展示風景



第26回企画展 展示風景

(3) 第27回企画展『赤坂古墳と但東の古墳』

平成16年 8月5日～11月30日

102日間（見学者数：5,622人）

平成15年度に行った赤坂古墳第1号墳の発掘調査、移設、復元事業に対し、発掘調査速報展として実施した。

但東町は従来「但馬考古学上の空白地帯」と呼ばれていたが、近年少しずつその概要が明らかになってきている。そうした但東町の考古学研究情報をいち早く紹介すべく企画された今回の企画展では、但馬で初めてほぼ完全な形で出土した装飾須恵器をはじめ、赤坂古墳から出土した資料、加えて6世紀～7世紀の但東の古墳の出土資料など約200点を展示した。その他1/5に縮小した石室の模型を展示し、屋外に移設復原した古墳とともに赤坂古墳の概要を見学できるようにした。



第27回企画展 展示風景



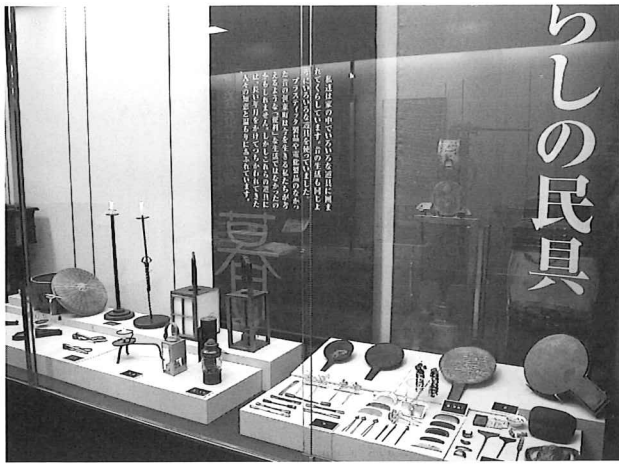
第27回企画展 展示風景

(4) 第28回企画展『但東の民具』

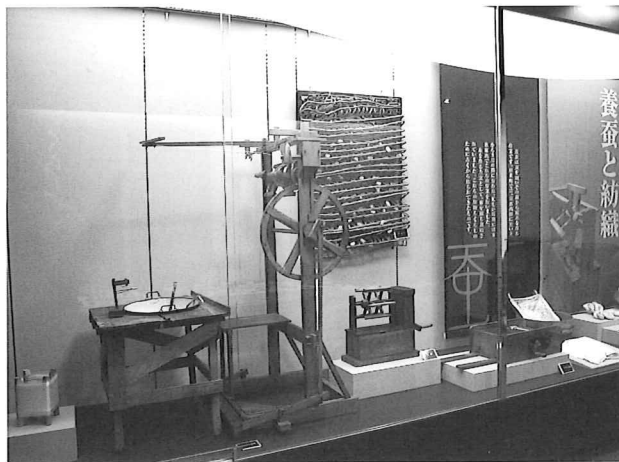
平成16年12月2日～平成17年3月15日

82日間（見学者数：3,624人）

この企画展は当館が所有する但東町内で収集された民具を展示し、当時の地域文化を感じてもらうために開催した。今回公開した資料は江戸時代末期から昭和初期にかけての但東町で使用されていた民具であり、展示室を「暮らし」「養蚕と紡織」「農業」「遊び」の4つに分け、分類ごとに展示した。養蚕関係の資料を展示するにあたっては、大屋町にある上垣守国養蚕記念館にご協力いただいた。



第28回企画展 展示風景



第28回企画展 展示風景

(5) 第29回企画展『北の工芸
北海道木彫りの世界～熊のいる風景』

平成17年 3月17日～9月13日
157日間

北海道の木彫工芸品は、アイヌの伝統的な生活用具から始まったと考えられる。その中で大正末期から昭和初

期に木彫熊が彫られ始めてから、アイヌの感性を自然に活かしたりアイヌ文様を取り入れられるようになった。昭和の後半になると、そうした作品の中から伝統的な作風を守ろうとするもの、民族的感情を抽象的に表現しようとするものなど、美術品・工芸品として様々な作品が生み出されるようになった。

今回の企画展では工芸品としての木彫彫刻を展示するとともに、そうした作品を生み出したアイヌ民族の文化や生活習慣を感じてもらえるような資料を展示している



第29回企画展 展示風景



第29回企画展 展示風景

Ⅲ. 調査研究事業

1. 台風23号による被災資料の現状確認調査

(1) 調査の経過

10月20日に発生した台風23号及びそれ以前から連続して発生している台風により、兵庫県北部地域は大きな被害を受けた。但東町でも土砂災害や水害といった被害が

甚大で、被災状況の情報収集を行っていた。

そうした中で神戸大学内に事務局を置き、全県的に文書の調査・保存に関する指導を行われている歴史資料ネットワークと共同して調査できる機会を得、専門的な見地から但東町の文化財資料（主に文書関係）の被災状況調査を行うこととなった。

(2) 調査要綱

- ①調査目的 台風被災資料の現状確認調査
- ②調査期間 平成16年11月6日
- ③調査地 但東町坂津地区、赤花地区、
奥赤地区、佐々木地区
- ④調査主体 歴史資料ネットワーク
- ⑤調査員（順不同・敬称略）
市沢哲（神戸大学文学部助教授）
木村拓生（大阪市立大学COE特別研究員）
木村修二（神戸大学文学部地域連携研究員）
前田喜一（但馬史研究会会長）
武知憲男（但東町文化財調査委員）
森脇博亮（但東町文化財調査委員）
金津匡伸（日本・モンゴル民族博物館）
高木義彦（日本・モンゴル民族博物館）

(3) 調査概要

① 調査の方法

県政資料館等の情報をもとに、事前に文書所有者をピックアップし、現地で聞き取り調査を行った。現地では簡単な趣旨説明を行い、ビラを配布した。また、被災資料が見つかった際にすぐに連絡をいただけるよう依頼した。

② 調査結果

調査を行った範囲での被災状況は以下のようであった。

- ・水害被害ではなかったが家屋の被災に伴い文献を焼却…1件（坂津・大谷家）
- ・土砂崩れにより土蔵が半壊、一部の文献は保存するも大半の収蔵物は放棄…1件（奥赤・小西家）
- ・土砂崩れにより家屋の一部が倒壊するが資料は無事…1件（佐々木・多根家）

その他被災にあった地域は多かったものの、資料への大きな被害は確認されなかった。ただし、今回調査でき

なかった地区をはじめ、カビなどの二次的被害や物置の整理による廃棄などには注意していく必要があり、今後も広く呼びかけを行っていかねばならない。

2. 文化財調査委員会の開催

文化財保護を目的に町教育委員会では文化財調査委員会を設置しており、当館はその事務局となっている。

平成16年度は以下のような活動を行った。

- | | |
|------------|---|
| 平成16年4月16日 | 第1回文化財調査委員会 |
| 10月12日 | 第2回文化財調査委員会
文化財パトロール（栗尾古墳伐採樹木の選定について） |
| 10月22日 | 文化財パトロール（台風23号被害調査） |
| 11月6日 | 第3回文化財調査委員会文化財水害調査（歴史資料ネットワーク共催）
文化財パトロール（台風23号被害調査） |
| 平成17年1月28日 | 第4回文化財調査委員会 |
| 2月9日 | 第5回文化財調査委員会
（研修会） |

本年度は調査委員会の開催、文化財パトロール、文化財標柱及び文化財周辺環境への提言、台風災害後の文化財被害状況調査等を行った。文化財調査委員会の協議内容としては、町内に設置している文化財標柱及び解説板の設置について、また町指定文化財栗尾古墳に自生する樹木の伐採、台風災害後の被害状況報告等が中心となった。

このほかにも、当館の主催で実施した「伝統文化こども教室 但東見て歩き」において文化財調査委員各位にご協力願ひ、子どもたちに地域の文化財についての啓蒙活動を行っていただいた。

IV. 資料収集保存事業

当館が所蔵している資料は約2万点以上に及ぶ国内外の資料で構成されている。寄贈されたモンゴル民族資料5千点、考古資料5千点を基礎資料としながら、但東町民俗資料館が収集保管してきた資料、また個人が大切に保管されていたもので寄贈又は寄託いただいたもの、モンゴル国内や全国各地から寄贈いただいた資料を収蔵している。

資料の収集と保存は、博物館の最も基本的な機能である。当館は郷土やモンゴルの自然や歴史・文化に関する資料を収集するとともに、それぞれの分野でのテーマに応じ、比較資料として郷土やモンゴルに関する資料をも収集対象としている。資料の収集は、寄贈・寄託・購入・採集・交換など、さまざまな方法で行っている。

1. 寄 贈

(1) 寄贈資料 (敬称略)

受 入 日	氏 名	住 所	資 料 名	点数
平成16年 7月 1日	J・ミャンダス	モンゴル国	VCD 「MONGOLIAN CAMEL POLO」	1
			CD 「G.YAVGAAN」	1
			パンフレット 「HUSTAI NATIONAL PALK & RESORT」	6
			地図 「TOURIST MAP OF MONGOLIA 2003年版」	1
			絵はがき	13
			日本・モンゴル国 国旗卓上セット	1式
			日本・モンゴル国 国旗 (各1枚)	2
			日本・モンゴル国 国旗 (吊り下げ式・各1枚)	2
平成16年 7月10日	今 井 久 士	但東町	火鉢	1
平成16年 7月	直 川 礼 緒	埼玉県上尾市	CD 「草原の吟遊詩人：アジア中央部と ハカス民族のチャトハンとハイ」	1
平成16年 8月 4日	モンゴル国立自然史 博物館	モンゴル国	フェルト製壁掛け	1
平成16年 9月27日	但東町立資母小学校	但東町	コプト織り 布片 3種類 (額入り)	1式
平成16年12月14日	小 山 定 子	但東町	民具	1式

(2) 図書寄贈者一覧 (順不同・敬称略)

【個人】

もり・けん (大阪府和泉市)、真田義永 (但東町)、
J・ミャンダス (モンゴル国)、大野旭 (静岡大学人文
学部社会学科)

【団体】

【兵庫県内】

明石市立文化博物館、赤穂市教育委員会、赤穂市立歴
史博物館、朝来町、淡路町教育委員会、一宮町教育委員
会、植村直己冒険館、大手前大学史学研究所、温泉町教
育委員会、加古川市教育委員会、香住町教育長、加東郡
教育委員会、川西市、神戸大学文学部、佐用郡教育委員

会、三田市教育委員会、山東町教育委員会、新宮町教育
委員会、洲本市教育委員会、太子町立歴史資料館、竹野
町教育委員会、龍野市立歴史文化資料館、津名郡町村会
埋蔵文化財事務所、津名郡北淡町教育委員会、津名町教
育委員会、中町教育委員会、日本玩具博物館、播磨町郷
土資料館、人と自然の博物館、兵庫県教育委員会、兵庫
県立美術館、兵庫県立歴史博物館、福崎町教育委員会、
美方町教育委員会

【京都府】

綾部市資料館、大山崎町歴史資料館、加悦町立江山文
庫、京都市考古資料館、京都府立丹後郷土資料館、城陽
市教育委員会、城陽市歴史民俗博物館、野田川町教育委
員会

【大阪府】

大阪外国語大学モンゴル研究会、大阪市立自然史博物館

【その他】

茨城県自然博物館、滋賀県立大学、天理大学附属天理参考館、徳島県立博物館、鳥取県ミュージアム・ネットワーク、鳥取県立博物館、奈良県文化財研究所、八戸市博物館、東浦町教育委員会、北海道立北方民族博物館、三方町縄文博物館、社会教育計画研究会、モンゴル国立自然史博物館

2. 購入資料

- ① アイヌ民族生活資料・工芸品関係資料 169点
- ② モンゴル国口琴 2点
- ③ 弓矢
- ④ 模型「遊牧の四季」

3. 資料の貸出

- ① 京都嵯峨芸術大学附属博物館
(平成16年2月5日～7月2日)
絵画29点、パネル9点、スプーン2点、椀1点、銅製ヤカン1点、水筒(皮)1点、銅製容器1点、鍋・五徳2点、チーズ型2点、攪拌棒1点、木製柄杓1点、ドンボ1点、銀製ポット1点、鳥形酒入れ1点、ツァツアル1点、狩猟用銃・付属品1点、ドウロー2点、ホソール1点、木 椀1点、チンギスハーンの宮殿を運んだ牛車(模型)1式、シャガイ ハルハップ2式、モンゴル将棋1式、知恵の輪2点、シャガイ1式、ホロム1式、モリンホール1点、ドンブル1点、シンバル1式、頭飾り1式、髪飾り1式、ハルハ族頭飾り1式、フールグ3点、携帯箸1点、パイプ1点、イヤリング1式、火打ち鎌1点、ブローチ1点、印つき袋1点、煙管1点、携帯椀1式、夏用帽子(男性用)1点、帽子1点、冬用帽子1点、ブーツ1点、デール4着、帯3点、タペストリー2点、祭祀用首かけ1点、経典2点、ゲル1式、机・椅子1式

- ② (株) 童夢(平成16年4月27日～5月31日)
モンゴル相撲写真2枚、馬頭琴演奏写真2枚
- ③ 関西ニュース1番「おでかけ一番」
(平成16年4月28日～5月6日)
博物館外観写真1枚、館内写真3枚、絵画写真3枚
- ④ 龍野市クラシックゴルフクラブ&アネックス
(平成16年6月11日～6月14日)
ゲル1式
- ⑤ 茨城県自然博物館(平成16年6月26日～11月25日)

モンゴル産ヤギ剥製3体

- ⑥ 北海道立北方民族博物館
(平成16年7月5日～9月30日)
馬印1点、角製哺乳用吸い口1点、モリンホール1点、ツァツアル1点、絵画1点、チーズ型1点、水筒1点、モンゴル将棋1点、知恵の輪1点、ホソール1点、ドウロー2点
- ⑦ タイホーコミュニティーペーパー「HAPPY」
(平成16年7月26日～9月4日)
博物館外観・館内写真5枚
- ⑧ 本庄四郎氏(平成16年7月27日～8月27日)
モンゴルビデオテープ3本
- ⑨ 水上町東地区交流協会
(平成16年9月23日～9月26日)
ゲル1式
- ⑩ イッセーミヤケ 久保賢一郎氏
(平成16年12月4日～12月14日)
モンゴル服飾・デザイン関係図書9冊
- ⑪ 東京法令出版(株)
(平成16年12月10日～12月28日)
博物館外観写真2枚
- ⑫ 但東中学校(平成15年12月14日～12月27日)
デール2着、帯2点
- ⑬ (株) エデュケーショナルネットワーク
(平成17年1月19日～3月15日)
博物館外観写真1枚
- ⑭ 東映映画村製作部(平成17年1月28日～1月31日)
モンゴル風景写真2枚
- ⑮ 名古屋市国際センター
(平成17年1月29日～1月30日)
絵画(デジタル画像)
- ⑯ 野田川町三河内小学校
(平成17年2月27日～2月28日)
デール1着、帯1点、帽子2点

4. 資料の燻蒸

平成16年度は年2回、害虫駆除センター・クリーン有限会社にて全館を対象にピレスロイド系殺虫剤、有機

リン系の乳剤を噴霧し、殺虫・防虫処理をした。

また、収蔵庫内においても年3回蒸散剤を設置し殺虫・防虫処理を実施している。

実施年月日	5月18日	9月28日	12月4日
全館	乳剤噴霧	乳剤噴霧	
収蔵庫	蒸散剤設置	蒸散剤設置	蒸散剤設置

5. 文化財標柱設置

平成16年度は文化財解説版2基と標柱1基の設置を行った。

- ①解説板 「式宮神社のケヤキの森」
(但東町久畑、県指定文化財)
- ②解説板 「木造薬師如来坐像ほか3体」
(但東町栗尾、県指定・町指定文化財)
- ③標柱 「安牟加神社農村歌舞伎舞台」
(但東町虫生、県指定文化財)

このうち①については老朽化した従来の解説板の再設置であり、②については但東町栗尾松禅寺敷地内に新設した。また、③については台風災害により破損した標柱を地元の要望もあり修繕した。



① 久畑 式宮神社



② 栗尾 松禅寺



③ 虫生 安牟加神社

V. 普及教育事業

1. 出前授業

出前授業は、学校教育における総合学習を積極的に支援することを目的としたもので、当館では博物館の収蔵品を使い、児童らに見て、触れて感じてもらう授業として平成12年度から実施している。博物館が学校に出向くことによって、児童らに資料の活用の仕方や、学ぶ意欲を高めてもらうのが大きなねらいである。

平成16年度は、昨年度に比べ実施回数が増え、近隣市町をはじめ県内各地の幼稚園・小・中学校44校で合計3,335名を対象に授業を行った。民族楽器や写真などを使った授業は反響も大きく、博物館をより身近に感じてもらうため、今後も積極的に展開する。

- | | |
|--|--|
| ① 4月22日(木) 但東町立資母小学校
3・5年生 36名 (礼ケイ氏・西村氏) | ⑮ 1月11日(火) 高槻市立磐手保育園
5歳児 27名 (山本) |
| ② 4月22日(木) 但東町立合橋小学校
全校生 150名 () | ⑯ 1月20日(木) 神戸市立美賀多台小学校
2年生 126名 (山本) |
| ③ 4月22日(木) 豊岡市立豊岡小学校
3～6年生 400名 () | ⑰ 1月24日(月) 宮津市立由良小学校
1・2年生 18名 (渡辺) |
| ④ 4月22日(木) 豊岡市立静修小学校
全校生 73名 () | ⑱ 1月25日(火) 山東町立梁瀬小学校
2年生 42名 (柴田) |
| ⑤ 4月23日(金) 出石町立寺坂小学校
全校生 60名 () | ⑲ 1月27日(木) 和田山町立東河小学校
2年生 23名 (柴田) |
| ⑥ 4月23日(金) 豊岡市立八条小学校
全校生 335名 () | ⑳ 1月31日(月) 和田山町立枚田小学校
2年生 57名 (渡辺) |
| ⑦ 4月23日(金) 豊岡市立五荘小学校
全校生 236名 () | ㉑ 2月1日(火) 姫路市立余部小学校
2年生 55名 (山本) |
| ⑧ 4月23日(金) 豊岡市立三江小学校
全校生 281名 () | ㉒ 2月4日(金) 養父市立養父小学校
2年生 32名 (渡辺) |
| ⑨ 4月23日(金) 豊岡市立港西小学校
1・2年 32名 () | ㉓ 2月7日(月) 山東町立粟鹿小学校
2年生 18名 (渡辺) |
| ⑩ 10月1日(金) 氷上町立東小学校
5年生 58名 (金津・ミンダス) | ㉔ 2月8日(火) 朝来町立山口小学校
2年生 34名 (柴田) |
| ⑪ 10月29日(金) 日高町立府中小学校
全校生 168名 (山本・ミンダス) | ㉕ 2月14日(月) 京丹後市立網野北小学校
2年生 54名 (渡辺) |
| ⑫ 11月25日(木) 福知山市立修斉小学校
6年生 35名 (渡辺・ミンダス) | ㉖ 2月14日(月) 出石町立小坂小学校
2年生 30名 (礼ケイ氏・西村氏) |
| ⑬ 11月29日(月) 出石町立寺坂小学校
1～3年生 26名 (柴田・ミンダス) | ㉗ 2月17日(木) 猪名川町立松尾台小学校
2年生 85名 (山本) |
| ⑭ 12月13日(月) 神戸市立須磨保育園
5歳児 39名 (山本) | ㉘ 2月17日(木) 猪名川町立つつじが丘小学校
2年生 49名 (山本) |
| | ㉙ 2月18日(金) 岩滝町立岩滝小学校
2・4年生 73名 (渡辺) |
| | ㉚ 2月21日(月) 豊岡市立八条小学校
2年生 62名 (柴田) |
| | ㉛ 2月21日(月) 京丹後市立鳥取小学校
2年生 28名 (渡辺) |
| | ㉜ 2月22日(火) 日高町立日高小学校
2年生 60名 (柴田) |
| | ㉝ 2月24日(木) 豊岡市立五荘小学校
2年生 104名 (山本) |
| | ㉞ 2月24日(木) 豊岡市立田鶴野小学校
2年生 24名 (山本) |
| | ㉟ 2月25日(金) 神戸市立長坂小学校
2年生 151名 (山本) |

- ㉞ 2月28日(月) 豊岡市立奈佐小学校
2年生 23名 (柴田)
- ㉟ 2月28日(月) 夜久野町立育英小学校
全校生 53名 (渡辺)
- ㊱ 3月7日(月) 三木市立豊地小学校
2年生 12名 (山本)
- ㊲ 3月7日(月) 三木市立緑ヶ丘東小学校
2年生 91名 (山本)
- ㊳ 3月8日(火) 但東町立資母小学校
2年生 21名 (柴田)
- ㊴ 3月10日(木) 香住町立柴山小学校
2年生 22名 (柴田)
- ㊵ 3月11日(金) 山東町立与布土小学校
2年生 6名 (渡辺)

- ㊶ 3月14日(月) 京丹後市立溝谷小学校
2年生 10名 (山本)
- ㊷ 3月15日(火) 京丹後市立神野小学校
2年生 16名 (渡辺)



出前授業風景

2. 普及事業

(1) 博物館教室

期 日	教 室 内 容	講 師 名	参加者(人)
4月24日	ネルグイ馬頭琴コンサート	ヨンドン・ネルグイ	80
5月15日	博物館ワークショップ「切り絵教室」	坂 田 陽 一	13
6月26日	伝統文化こども教室 早苗登のごちそう	但東味の研究会	7
6月27日	伝統文化こども教室 茶道教室	大 石 朝 美	6
7月10日	伝統文化こども教室 たんとう見て歩き	化財調査委員 高 木 義 彦	7
7月17日	伝統文化こども教室 たんとう見て歩き	文化財調査委員 高 木 義 彦	5
7月18日	伝統文化こども教室 茶道教室	大 石 朝 美	7
7月24日	お 話 会	坂 岡 明 美	7
7月26日	オリジナルグラスをつくろう	柴 田 明 子	1
7月27日	川 の 学 校	本 庄 四 郎 田 中 由 紀 子	14
8月2日	七 宝 焼 き 教 室	柴 田 明 子	10
8月5日	ミャンダスさんのお話会	ミ ャ ン ダ ス	6
8月6日	伝統文化こども教室 たんとう見て歩き	文化財調査委員 高 木 義 彦 ミ ャ ン ダ ス	6
8月7日	勾 玉 づ く り	金 津 匡 伸	1
8月9日 10日	博 物 館 お 泊 ま り 会	金 津 匡 伸 高 木 義 彦 ミ ャ ン ダ ス	7

8月12日	お 話 会	紙芝居の会 “カスタ・ネット”	10
8月21日	伝統文化こども教室 茶道教室	大石朝美	5
8月22日	オルガンコンサート	高木沙織	13
8月24日	お 話 会	坂岡明美	10
8月27日	2004僕らミュージアム探検隊	山本龍馬 柴田明子 ミヤンダス	24
9月23日	伝統文化こども教室 お月見のごちそう	今井操彦 高木義彦	5
9月25日	伝統文化こども教室 華道教室	西村強甫	5
10月2日	華 道 教 室	西村強甫	7
11月6日	華 道 教 室	西村強甫	5
12月4日	華 道 教 室	西村強甫	8
2月6日	たんとう雪まつり		125
2月13日	ヨンドン・ネルグイ馬頭琴コンサート	ヨンドン・ネルグイ	111
合 計	28回		505



華道教室



川の学校



たんとう見て歩き



たんとう雪まつり

3. 「トライやるウィーク」の受入

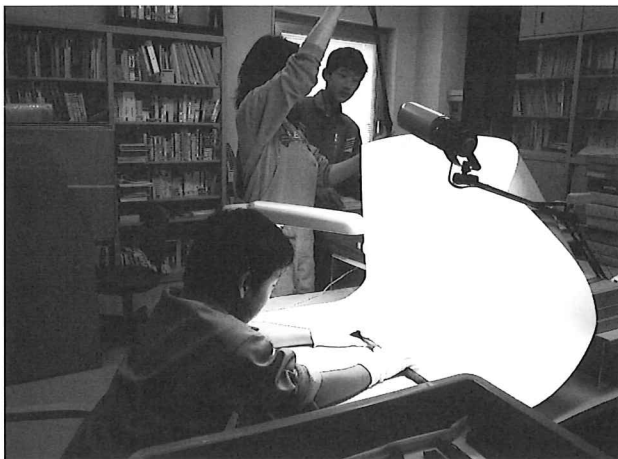
兵庫県教育委員会の事業として中学生の地域体験学習「トライやるウィーク」で生徒の希望に応じて博物館体験を5月31日（月）から6月4日（金）までの5日間受け入れた。

本事業は中学2年生が1週間、学校を離れて地域社会での実体験を通して学習する試みとして平成10年度より始まっている。

博物館体験は但東中学校2名（藤原啓佑、松本裕基）を受け入れた。博物館での活動は、開館前の館内外の清掃・プレーリードッグやヤギの世話・町内文化財の現地確認・博物館資料の写真撮影などを体験した。



ヤギ小屋の清掃



資料の写真撮影

【参加者の感想（抜粋）】

◎ 先日の「トライやるウィーク」におきましては大変お世話になりました。僕たちは学校生活の中では体験することができない貴重な体験をさせていただくことができました。そうじ一つをとっても、片づけまでやり終えてはじめて終わるということを学びました。どんなに失

敗しても温かく見守っていただいて本当にありがとうございました。

（但東中学校2年1組 藤原啓佑）

◎ 『トライやるウィーク』においては大変お世話になりました。ヤギやプレーリードッグの世話、西野々の山に登った事、長時間の草取り、デジカメで昔の木や土器を撮影した事、本当に家や学校ではできない事をさせてもらったと思います。そしてその大変さを感じました。僕はその仕事の大変さを活かして仕事選びをしていきたいと思っています。

（但東中学校2年2組 松本裕基）

4. 講師派遣

出前授業とは別に、館外から依頼を受けて行った講師派遣を、月日・担当者・内容（依頼者）の順に記録しておく。これらも広義の普及教育活動につながるとの観点から、業務に支障のない範囲で依頼を受け入れることにしている。

【平成16年度】

- ① 4月20日 金津匡伸 京都嵯峨芸術大学附属博物館
『モンゴル草原の暮らしと文化』
- ② 5月10日 金津匡伸 阪急百貨店メンバーズセミナー
『遊牧の国モンゴルを知ろう』
- ③ 6月29日 金津匡伸 兵庫県いなみ野学園大学講座
『モンゴルの過去と現在』
- ④ 7月7日 金津匡伸 全但市町収入役協議会
『地方に暮らして世界を視る』
- ⑤ 8月20日 金津匡伸 網走管内博物館連絡協議会研修会
『国際理解学習と博物館』
- ⑥ 8月21日 金津匡伸 北海道立北方民族博物館
『日本博物館紀行「日本・モンゴル民族博物館」』
- ⑦ 8月23日 金津匡伸 阪急百貨店メンバーズセミナー
『遊牧民の住居ゲル・クラフト教室』
- ⑧ 8月27日 金津匡伸 但東町教育研修所
『赤坂古墳と但東の古墳』
- ⑨ 2月24日 金津匡伸 多可郡立高齢者大学
『友人の多い人生は豊かな草原と同じ』
- ⑩ 3月5日 金津匡伸 出石郡仏教会
『地方に暮らして世界を視る』

5. 出版活動

館外からの原稿依頼を受けて行った雑誌や機関紙等を記録しておく。これらも広義の教育普及活動につながるとの観点から、業務に支障のない範囲で受け入れることにしている。

- ①平成16年4月14日 金津匡伸
『我が家の駄犬 神戸新聞 随想』
- ②平成16年5月1日 金津匡伸
『田舎に暮らして考える 神戸新聞 随想』
- ③平成16年7月1日 金津匡伸
『コレクションの系譜 北海道立北方民族博物館友の会季刊誌No.51』
- ④平成16年12月14日 金津匡伸
『豊かさの本質と体験的国際交流のスヌメ』
神鋼環境ソリューション労働組合

6. 子ども放送局

衛星通信を利用した教育情報通信ネットワークシステム（エル・ネット）子ども放送局受信設備を平成11年度文部省の国庫補助事業である「学習活動支援設備整備事業」により設置した。放映は従来毎月第2・4土曜日のみであったが、学校週5日制の実施に伴い毎土曜日に放映されるようになった。このほか、教育関係者を対象にした研修や事業説明などに活用した。

また、各大学のオープンカレッジなど番組の内容も充実された。

VI. 国際交流事業

1. モンゴル国研修生の受入

5月23日から12月3日までの半年あまりモンゴル国研修生を受け入れた。自治体職員協力交流事業の一環で、80名程度の様々な国の自治体職員が日本の自治体で業務のノウハウを学ぶというものであった。但東町に来た研修生はジャンバルドルジ・ミヤングス女史で、モンゴル国ウランバートル在住の女性であった。彼女はウランバートルにあるモンゴル自然史博物館の管理マネージャーとして働いていた。来日して最初の1ヶ月間は天津市にある研修機関で日本語を学び、そしてその後但東町に移動し、研修を行った。

ミヤングス女史は博物館での様々な業務や体験教室等のイベントに積極的に取り組み、町の国際交流関係事業にも進んで参加された。そして少しでも多くの日本の文化や習慣を学ぼうとされていた。町民の方にも大変お世話になり、研修期間中にたくさんの家庭で温かくホームステイの受け入れをしていただいた。

モンゴルに戻ってこれから更に活躍される女史とモンゴル自然史博物館と友好関係が構築され、今後の活動に対しお互いに協力を約束できたことは当館にとっても大きな収穫であった。



浴衣を着て館内の説明



送別会風景

2. 職員のモンゴル国派遣

第6回但東町モンゴル友好訪問使節団事務局とし、8月3日から10日まで山本龍馬をモンゴル国に派遣した。町教育委員橋本祥宏氏を団長とする中学生4名、中学校教師1名を中心に、総勢10名で各地を訪問し、友好を深めた。



第6回但東町モンゴル友好訪問使節団

3. モンゴル国文部科学省より感謝状の授与

平成17年3月19日・20日の2日間、モンゴル文化基金総裁であるイチンホルロー・ルハグワスレン氏が来館し、

18年にわたるモンゴル国との交流と情報の発信に対し、モンゴル国文部科学省ツァガーン大臣より感謝状が贈呈された。奥田但東町長に感謝状が手渡され、今後更なる相互理解と協力を約束した。



感謝状の授与

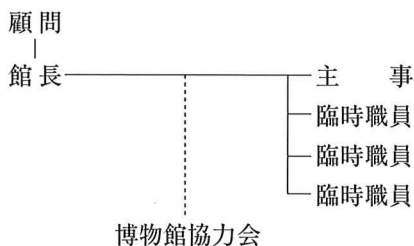
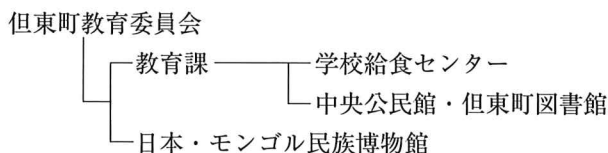
4. モンゴル国・中国内モンゴル自治区の関係機関へ図書を寄贈

平成17年3月、モンゴル国の国立自然史博物館、新モンゴル高校、中国内モンゴル自治区内蒙古師範学校の3施設に博物館が所蔵している百科事典等の書籍を寄贈した。

Ⅶ. 管理運営

1. 組織・職員（平成17年3月31日現在）

(1) 組織



(2) 職員（5人）

顧問	福田芳郎（平成13年4月～）
館長	金津匡伸（平成8年11月～）
主事	山本龍馬（平成16年1月～）
臨時職員	高木義彦 （平成13年4月～平成17年3月）
臨時職員	渡辺律子（平成8年11月～）
臨時職員	柴田明子（平成13年4月～）

(3) 事務分掌

金津匡伸 博物館活動・事業の推進、博物館の管理運営、博物館の普及・広報活動、資料の収集・保管、資料の展示（常設・企画）、資料の調査研究

山本龍馬 博物館活動（講習会・教室・展示会等）、各種団体・機関との連絡調整、公民館との連携活動、博物館協会、国際交流

高木義彦 博物館活動（講習会、教室、展示会等）、文化財調査委員会、民俗資料・民俗資料館の管理運営

渡辺律子 歳入歳出予算及び経理、博物館の庶務

柴田明子 利用者の受付・案内、公文書の経理、館内清掃に関すること

一委託料509、バス停清掃業務委託料 20)

⑨ 使用料及び賃借料 1,144

⑩ 工事請負費 8,293（ふれあい動物園設置工事 861、販売所修繕工事 567、外壁補修工事 670、多目的ホール収蔵庫設置工事 4,095、シーリング打替工事 2,100）

⑪ 備品購入費 532

⑫ 負担金 26（県博物館協会10、但馬地域博物館連絡会10、テレビ組合6）

⑬ 公課費 19（公用車重量税19）

⑭ 企画展費 4,053

（報償費 15、需用費3,969、役務費69）

⑮ 活動費 383（報償費259、需用費124）

[文化財費] 2,423

① 文化財調査委員会費 155（報酬129、旅費26）

② 文化財調査保存費 1,766（報償費100、旅費82、需用費1,334、委託料250）

③ 埋蔵文化財調査費 252（委託料252）

④ 農村歌舞伎舞台活用事業費 250（報償費250）

2. 予算の概要（決算額）

単位：千円（百円以下四捨五入）

[博物館費] 48,777

① 給料（2人） 7,129

② 職員手当等 12,500（管理職手当485、扶養手当366、調整手当399、通勤手当244、時間外勤務手当285、期末手当3,715、勤勉手当970、寒冷地手当132、嘱託手当5,904）

③ 共済費 1,484

④ 賃金 133

⑤ 旅費 786

⑥ 需用費 9,774（消耗品費2,076、印刷製本費815、光熱水費5,876、修繕費1,007）

⑦ 役務費 703

⑧ 委託料 1,818（警備保障委託料276、電気保安点検料202、資料燻蒸委託料212、フローアール・ガラス等清掃委託料479、自動ドア点検委託料120、シルバー人材センタ

3. 利用状況

平成8年11月3日に開館し、累計では平成17年3月末で249,445名の方に利用いただいた。平成16年度の利用状況は次のとおりである。

利用者数は21,304名で前年度比3,228名の減である。平成16年度台風23号台風により、道路交通状態が悪かったことも影響していると考えられる。利用者21,304名の内訳は、有料が10,246名、無料が11,058名である。但東町民の博物館利用は3,716名で全体のおよそ17%であった。

【平成8年度（開館日：123日）】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開館日数								24	23	25	24	27	123
計								7,125	1,581	1,462	1,759	3,876	15,803
1日平均								296	69	58	73	144	128

【平成9年度（開館日：307日）】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開館日数	25	27	26	26	27	26	26	26	23	24	24	27	307
計	5,853	4,796	3,891	3,529	4,500	2,768	2,848	3,553	1,564	1,303	1,556	2,595	38,738
1日平均	234	178	150	136	167	106	110	137	67	54	65	96	126

【平成10年度（開館日：307日）】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開館日数	27	27	27	23	27	25	27	27	23	24	24	26	307
計	6,334	2,796	1,740	1,741	3,028	2,068	2,254	3,093	1,316	2,040	2,670	1,951	38,738
1日平均	235	104	67	76	112	83	83	119	57	85	111	75	101

【平成11年度（開館日：308日）】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開館日数	27	27	25	27	27	24	27	26	23	24	25	26	308
計	6,136	2,633	1,828	1,870	3,577	1,428	2,299	2,193	1,105	1,134	1,077	1,442	26,722
1日平均	227	98	73	69	132	60	85	84	48	47	43	55	87

【平成12年度（開館日：307日）】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開館日数	28	27	26	27	26	26	27	23	23	23	24	27	307
計	7,615	2,833	1,854	1,869	3,035	1,938	2,578	2,029	1,397	735	1,632	1,662	29,178
1日平均	272	105	71	69	117	75	96	88	61	32	68	62	95

【平成13年度（開館日：308日）】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
町民	460	405	426	415	630	496	453	376	143	275	340	269	4,688
一般	4,831	1,495	1,166	665	1,200	1,537	1,216	1,665	977	726	703	1,180	17,361
高大	198	34	13	7	49	12	24	193	41	2	10	24	607
小中	514	72	27	30	187	100	40	56	47	47	35	72	1,227
その他	2,537	703	445	315	545	420	516	446	437	279	213	348	7,204
計	8,540	2,709	2,077	1,432	2,611	2,565	2,249	2,736	1,645	1,329	1,301	1,893	31,087
1日平均	316	104	80	53	100	99	87	105	72	55	54	70	101

【平成14年度（開館日：310日）】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
町民	478	405	268	451	698	354	276	243	153	125	276	212	3,945
一般	2,560	1,465	806	653	1,194	921	982	1,587	829	444	930	909	13,280
高大	35	27	7	22	70	25	151	12	14	3	6	41	413
小中	447	105	22	54	195	43	22	57	49	20	72	120	1,206
その他	1,786	652	327	255	626	349	6,274	449	301	151	408	625	12,203
計	5,306	2,660	1,430	1,435	2,783	1,692	7,705	2,348	1,346	743	1,692	1,907	31,047
1日平均	189	102	55	55	99	65	285	90	58	32	70	70	100

【平成15年度（開館日：308日）】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
町民	211	238	413	422	620	207	702	349	173	167	295	386	4,183
一般	2,657	1,468	952	633	1,230	889	1,152	1,072	467	385	670	685	12,260
高大	223	23	10	12	74	8	6	8	9	7	34	37	451
小中	275	77	24	50	197	35	17	41	33	16	54	101	920
その他	1,915	530	623	441	502	332	502	435	210	226	623	379	6,718
計	5,281	2,336	2,022	1,558	2,623	1,471	2,379	1,905	892	801	1,676	1,588	24,532
1日平均	196	87	78	60	98	57	92	74	39	35	67	62	80

【平成16年度（開館日：308日）】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
町民	389	261	280	450	571	313	227	361	229	181	178	276	3,716
一般	2,307	1,073	674	488	857	612	683	557	441	330	490	611	9,123
高大	18	29	3	13	50	30	5	6	13	1	14	5	187
小中	336	120	10	32	120	32	14	16	15	22	89	130	936
その他	2,941	528	360	471	526	173	341	461	227	177	683	454	7,342
計	5,991	2,011	1,327	1,454	2,124	1,160	1,270	1,401	925	711	1,454	1,476	21,304
1日平均	222	75	53	54	79	45	47	54	40	31	61	57	69

4. 施設管理

(1) 芝生管理

敷地内に広がる芝生管理を但東町シルバー人材センターに年間委託している。本年度はボランティアで行っていただいた活動も含め3回の雑草除去作業を行った。

また、博物館協力会の皆さんにも芝生をはじめとした館外の美化に協力をいただいた。

(2) 補修工事

① 販売所修繕工事

博物館協力会が地元の野菜や特産品を販売している販売所の床面及び壁面の補修を行った。

工事は平成16年7月に完了し、安全性・機能性が向上した。

② 外壁補修工事

近年外壁の劣化が目立つようになっており、本年度は北側壁面及び機械室壁面のクラック補修及び塗装を行った。

③ 多目的ホール収蔵庫設置工事

開館以来増加する資料により収蔵スペースの慢性的な不足が起こっていたが、より良好な状態で資料を保存管理していくため、多目的ホールを収蔵庫に変更した。

④ 風除室建具取替え

ロビー木製扉の下部にその重量による破損が生じ、取替えを行った。重量を抑えるため材質変更及びデザインの変更を行った。

⑤ 外部シーリング打替工事

建物の経年変化や相次ぐ台風の影響もあり、館内への漏水が見られるようになった。これに対し、B棟北面及び交流プラザ・囲炉裏端、C棟北面・南面の外壁シーリング取替え等の工事を行った。

⑥ チンギスハーン騎馬像修繕

博物館前に設置していたコンクリート製騎馬像の補修を行った。ひび割れ部分を修繕し、彩色を施した。

5. 博物館協力会

博物館協力会は当館が位置する資母地区の住民から「いつまでも美しい建物にしよう」という声が上がリ、加藤廣巳氏と塩川剛三氏の呼びかけで、平成9年2月10日に発足した。会長は博物館が位置している如布区長がこれにあたり、周辺地域の区長や各団体の長が理事として連なる。また、資母地区選出議員、博物館職員OBが顧問となる役員構成になっている。平成16年の活動内容は以下のとおりである。

◎平成16年役員（任期：平成16年1月1日～12月31日）

会長 加藤泰啓 常任理事 塩川剛三
理事13名 顧問11名

◎平成16年活動内容

2月15日 かまくら作り教室協賛
3月2日 役員会
3月28日 博物館前販売所開店
4月15日～26日 チューリップ祭り協賛販売所開店
7月6日 如布区博物館芝生広場雑草除去作業
8月14日～10月21日
モンゴル国研修生J.ミヤダス氏を受入協力
ホームステイのべ5家庭
10月10日 如布神社神楽披露
11月23日 ボランティア活動（芝の根切り）
11月23日 役員会
11月28日 博物館前販売所閉店

3月28日から11月28日まで延べ51日、博物館前の販売所にて観光案内と物産販売を行い、ボランティア延べ109名の協力を得た。

6. 博物館日誌抄

4月1日 辞令交付式、神戸新聞企画展取材
4月2日 産経新聞赤坂古墳取材
4月3日 播磨町郷土資料館(1名)来館
4月6日 資母小学校長外3名着任挨拶
4月13日 兵庫県県民政策部県民文化局局長来館
4月15日 チューリップまつり開園、神戸新聞・朝日新聞 企画展取材
4月16日 NHK企画展取材、豊岡市出土文化財管理センター3名来館
文化財調査委員会
4月19日 若草会20名来館
4月20日 高橋幼稚園遠足11名来館、北但生活研究グル

ープ45名来館

4月21日 豊岡南中学校障害児学級来館、神戸新聞・読売新聞子ヤギ取材
西村幹也氏、ネルグイ氏来館
4月22日 松岡前教育長外20名来館、福井県三方町縄文博物館副館長外6名来館、きり絵講師 坂田陽一氏来館、但馬やまびこの郷11名来館、寺内長寿会34名来館、夜久野公社2名来館、魚っ知館2名来館
西村幹也氏、ネルグイ氏学校公演(4校)
4月23日 西村幹也氏、ネルグイ氏学校公演(5校)
4月24日 水上町国際交流協会会長来館、神戸新聞・読売新聞ネルグイ氏取材のため来館、元植村直己冒険館正木館長来館、大手前大学教授辻一郎氏来館、ネルグイ馬頭琴コンサート
4月25日 西村幹也氏、ネルグイ氏来館
4月26日 トライやるウィーク打合わせ
4月30日 合橋幼稚園遠足21名来館
5月5日 「こどもの日」小中学生入館料無料
5月7日 久畑式宮神社ケヤキ定点観測
5月9日 神鋼環境ソリューション労働組合5名来館
5月11日 養父市立高柳小学校1～3年校外学習43名来館、しゃがあ西村幹也氏来館
5月13日 地域イントラネットに係る現地確認
5月14日 ふれあい動物園設置工事
5月15日 読売新聞企画展取材
5月18日 「国際博物館の日」につき入館料無料、全館燻蒸
5月19日 スーチンドロン氏外1名来館
5月21日 消防器具点検
5月24日 資母幼稚園13名、但東中学校やまびこ学級3名来館、町内新任・転任教職員研修15名、モンゴル国研修生J.ミヤダス氏来日
5月25日 シルバー人材センター草取り奉仕作業
赤坂古墳石室入口に門扉設置
5月26日 シルバー人材センター草取り奉仕作業
5月28日 ふれあい動物園完成
5月29日 出石養護学校浦川純子氏企画展打ち合わせ
5月31日 トライやるウィーク開始2名受入（～6/4）
6月1日 豊岡市会計課安田勇一氏外1名講演会打ち合わせ、役場総務課よりトライやるウィーク取材
6月2日 外壁・ガラス清掃
6月4日 茨城県自然博物館学芸員山崎晃司氏来館、関西学院大学片寄教授外4名来館、トライやるウィーク最終日

- 6月6日 西紀小学校2年生PTA23名来館
- 6月8日 姫路好古大学3年史学A組34名来館
- 6月11日 龍野クラシックゴルフ倶楽部&アネックス
2名来館(ゲル貸出)
- 6月16日 伝承館燻蒸、出石養護学校浦川氏外1名来館、
展示替え
- 6月17日 第26回企画展「さをり織りの世界」6/17～
8/3、板橋老人クラブ19名来館、読売新聞企
画展取材
- 6月24日 モンゴル研修生J.ミヤダス氏来館
- 6月25日 いなみ野学園園芸2組37名来館、神戸新聞、
読売新聞企画展、ヤギ取材
- 6月27日 茨城県自然博物館学芸員山崎晃司氏ヤギ剥製
借用のため来館、暁星高校2年生6名来館、如
布区博物館周辺草取り(20名)
- 7月1日 いなみ野学園8名来館
- 7月2日 嵯峨芸術大学附属博物館佐野氏来館・資料返
却、出石養護学校38名、野田川教育委員会20
名来館
- 7月3日 本庄四郎氏ヤギ引取り
- 7月4日 養父市立三谷小学校2年生学P44名来館、合橋
小学校1年学P44名
- 7月5日 北海道立北方民族博物館資料館へ資料貸出し
- 7月7日 全但収入役会17名来館
- 7月8日 シルバー人材センター擬木設置
- 7月9日 合橋小学校3年生6名来館
- 7月11日 ナーダムin但東町開催(モン関西)
- 7月13日 出石養護学校38名来館
- 7月20日 決算監査
- 7月22日 いなみ野学園23名来館、「浴衣を着よう」キ
ャンペーン参加
- 7月23日 但東町ライオンズクラブ理事浅田氏来館、シ
ルバー人材センターボランティア草取り
- 7月25日 読売新聞 ゆかたキャンペーン取材
- 7月27日 「川の学校」講師本庄四郎氏、田中ゆき子氏
来館、外壁補修 現場監査、関西学院大学中
野ゼミ無線調査のため中野教授外5名来館
- 7月29日 兼井文化財調査委員来館
- 7月30日 北星社取材
- 7月31日 出石養護学校浦川氏来館
- 8月3日 モンゴル友好使節団出発(～8/10まで)
- 8月4日 企画展撤収・展示替え
- 8月5日 津名町公民館子ども国際交流講座35名来館、
神戸新聞ミヤダス氏取材
- 8月6日 神戸新聞企画展取材
- 8月8日 五色町人権・同和教育研究協議会来館、但東
中学校2年トライやるお礼
- 8月10日 美方郡社会科研究会12名来館、モンゴル友好
使節団帰国
- 8月14日 但東町デイサービス5名来館
- 8月15日 けやきホールデイサービス10名来館
- 8月16日 豊岡市出土文化財管理センター潮崎氏外1名来
館、けやきホールデイサービス16名来館
- 8月20日 けやきホールデイサービス8名来館
- 8月21日 けやきホールデイサービス7名来館
- 8月24日 自動ドア点検
- 8月25日 南光町中央公民館内山氏外1名農村歌舞伎舞台
下見
- 8月27日 町教研8名研修
- 8月28日 県民局安藤副局長外1名来館
- 9月1日 外壁補修工事(～2日)
- 9月3日 但東町デイサービス11名来館
- 9月4日 チャレンジくらぶ資母10名来館
- 9月5日 読売新聞企画展取材
- 9月6日 川嶋建設漏水箇所点検
- 9月10日 出石養護学校浦川氏外3名パネル引取り
- 9月21日 出石警察署2名来館
- 9月23日 水上町国際交流協会2名ゲル借用のため来館、
名古屋国際センター アージムシンサラン氏
来館
- 9月26日 水上町国際交流協会2名ゲル返却のため来館
- 9月27日 シルバー人材センター5名草取り、15年度決算
審査
- 9月28日 姫路市立好古学園史学科2年B組40名来館、丹
波地区社会教育協議会32名視察研修、全館燻
蒸
- 9月30日 北海道立北方民族博物館中田氏資料返却のた
め来館
- 10月7日 朝日新聞取材
- 10月10日 如布神楽を駐車場にて披露
- 10月12日 文化財調査委員会、関西電気保安協会定期点
検
- 10月14日 京丹後市立峰山小学校1・2年68名校外学
- 10月21日 臨時休館 台風23号の被害により町内各所で
冠水・山崩れ
- 10月22日 臨時休館、文化財パトロール
- 10月23日 臨時休館
- 10月31日 神戸新聞取材
- 11月3日 開館記念日
- 11月4日 スーチンドロン氏保管絵画打合せの為来館
- 11月5日 養父市立関宮小学校2年39名校外学習
- 11月6日 被災文化財調査 但馬史研究会前田喜一氏、
文化財調査委員武知氏、森脇氏来館、神戸大
学部助教授市沢哲氏他3名来館

- | | | | |
|--------|--|----------------------------|---|
| 11月9日 | 神戸新聞取材 | ネルグイ馬頭琴コンサート開催111名（町民センター） | |
| 11月14日 | 県子ども会連合会13名来館 | | |
| 11月20日 | 「関西文化の日」参加につき入館料無料 | 2月14日 | 但東町立合橋小学校3年31名校外学習、京丹後市立大宮第2小学校2年23名校外学習 |
| 11月21日 | 「関西文化の日」参加につき入館料無料 | | 但東中学校5名 |
| 11月22日 | シルバー人材センター堅穴式住居屋根葺き替え | 2月15日 | 野田川町立市場小学校2年45名校外学習、加悦町立加悦小学校2年46名校外学習、出石町立福住小学校2年24名校外学習 |
| 11月23日 | シルバー人材センター堅穴式住居屋根葺き替え、博物館協会役員奉仕作業17名 | 2月17日 | 野田川町立岩屋小学校17名校外学習 |
| 11月24日 | 兵庫県歴史博物館2名古文書整理指導のため来館、堅穴住居屋根葺き替え完了 | 2月18日 | 京丹後市立田村小学校11名校外学習 |
| 11月25日 | 茨城県自然史博物館山羊剥製返却、樹木医宮田和男氏外1名来館（日出神社けやき確認） | 2月22日 | 野田川町立三河内小学校39名校外学習 |
| 11月26日 | 神戸新聞取材、金津館長、J.ミヤングス氏斉藤兵庫副知事表敬訪問 | 2月24日 | 加悦町立与謝小学校16名校外学習 |
| 11月27日 | モン関西9名来館、モンゴルミニコンサート | 2月25日 | 樹木医・宮田和夫氏栗尾現場確認、(株)川嶋建設シーリング取替え作業 |
| 12月1日 | 博物館協会販売所最終日 | 3月4日 | 京丹後市立間人小学校2年24名校外学習 |
| 12月2日 | 企画展「但東の民具」展示替え | 3月6日 | 県埋蔵文化財室中川氏平田古墳確認 |
| 12月4日 | モンゴル国研修生J.ミヤングス氏帰国
イッセイミヤケ 久保賢一郎氏外1名来館 | 3月8日 | 野田川町石川小学校2年20名校外学習、養父市立小佐小学校2年5名校外学習 |
| 12月5日 | 波賀町教育委員会7名来館 | 3月11日 | 但東町立合橋小学校2年19名校外学習、但東町立資母小学校3年16名校外学習、山東町立与布土小学校2年6名校外学習 |
| 12月10日 | 北但1市5町地域公共ネットワーク電気通信工事 | 3月15日 | 京丹後市立吉野小学校2年20名校外学習、出石町立寺坂小学校2年14名校外学習 |
| 12月12日 | 小野小学校28名校外学習 | 3月16日 | 展示替 |
| 12月14日 | 北但消防本部予防課施設点検 | 3月19日 | ルハグワスレン氏来館、西村幹也氏、ネルグイ氏来館 |
| 12月16日 | ヤギ(メイ)赤ちゃん誕生 | 3月20日 | 農林水産省大臣官房井出氏外3名来館 |
| 12月27日 | 出石建材 フロアーカーペット補修 | 3月28日 | 神戸大 足立教授外4名大石家調査のため来館 |
| 12月28日 | 用務納め | 3月29日 | いきがいサービスセンター塩北32名来館 |
| 1月4日 | 用務初め | 3月30日 | 但東町 閉庁式 |
| 1月15日 | 絵馬設置 | | |
| 1月18日 | 館内ガラス清掃 | | |
| 1月20日 | 姫路好古学園大学38名来館、川上小学校10名校外学習、外壁清掃 | | |
| 1月22日 | 京丹後市佐濃小学校先生下見 | | |
| 1月23日 | 神戸新聞取材 | | |
| 1月24日 | 京丹後市立五箇小学校15名校外学習 | | |
| 1月28日 | 京丹後市立佐濃小学校24名校外学習、文化財調査委員会 | | |
| 1月29日 | 読売新聞取材 | | |
| 2月5日 | 毎日新聞、神戸新聞取材 | | |
| 2月6日 | たんとう雪まつり開催 | | |
| 2月8日 | 都築ネットワーク電気通信工事 | | |
| 2月10日 | 兵庫県立大 清原正義教授、芦田助教授来館
京丹後市立橋小学校2年40名校外学習 | | |
| 2月12日 | 西村幹也氏、ネルグイ氏来館、やまびこ温泉館にてミニコンサート開催 | | |
| 2月13日 | 神戸大 歴史資料ネットワーク大石家調査のため3名来館 | | |

7. お客様の声より抜粋

以下は平成16年度の来館者の声を抜粋したもので、博物館職員として真摯に受け止め今後の運営に活かしたいと考えている

- ◎ 4月4日 高砂市曾根町（女性）
めずらしい色々な物をみせていただいて、参考に
なり楽しかった。又、但東の展示もされていて興味深く
拝見しました。
- ◎ 4月4日 吹田市広芝町（男）
モンゴルの大きさがわからなかったの、日本と比
較してどれくらい違うかしりたかった。
ランク的に日本との違いを知りたい（平均寿命等）

- ◎ 4月5日 城崎郡日高町 (男)
モンゴルのきものを着たら、あったかくなった。
- ◎ 4月10日 養父市八鹿町 (女)
モンゴルの服がきれて大変よかった。馬頭琴の音が
聞けてよかった。
- ◎ 4月12日 宍粟郡山崎町 (女)
モンゴル人の生活様式がわかってよかった。
- ◎ 4月17日 舞鶴市森本町 (女)
スーホの白い馬は小学生の時以来久しぶりに話を聞
いたけど、改めていい話だった。
- ◎ 4月17日 豊岡市清冷寺 (女)
モンゴルのことについてよくわかりました。
- ◎ 4月18日 美方郡村岡町 (女)
パンフレットで見たのより、すごくよかったです。
- ◎ 4月18日 美方郡村岡町 (男)
感動した！
- ◎ 4月18日 (女)
モンゴル博物館へ来て、ゲルがあるとは知りません
でした。食べ物を見て、日本と違うことがよく分かり
ました。私は学校で馬頭琴をひきました。
- ◎ 4月18日 吹田市南正雀 (女)
日本と似た所が数多くあった。とてもすばらしかつ
た。楽しかったです。
- ◎ 4月22日 池田市室町 (男)
解説のチラシが随所に用意されており、役立ちまし
た。映写室は暗くて不便なので、テレビ (ビデオ) で
見られるようにしてほしい。
- ◎ 4月22日 池田市室町 (女)
NHKラジオでこの博物館の事を聞いて、メモを取
っていましたが、現地に来て本当に充実しているので
感動しました。
- ◎ 4月23日 豊中市宮山町 (男)
民族博物館が素晴らしく、展示物も豊富で満足でし
た。
- ◎ 4月25日 兵庫県朝来市 (女)
一回わたしたち糸井小学校に来てくれたから、その
時パンフレットをもらったから、うれしいです。
- ◎ 4月25日 豊岡市元町 (女)
コンサートをもっとしてほしい。昨日はネルグイさ
んのコンサートに来たかったが、これずで残念でした。
- ◎ 4月25日 出石郡但東町 (女)
出来れば、もっと沢山本があってほしい。
- ◎ 4月29日 豊岡市正法寺 (女)
いつ来ても気持ちよく大変結構です。冬場、雪の多
い時だけは出足がにぶります。
- ◎ 4月29日 城崎郡香住町 (男)
但東の民家が私の育った家と全く同じように出来て
ました。懐かしく拝見いたしました。
- ◎ 5月3日 加古川市志方町 (男)
思っていたよりもずっと簡略で、ややもの足りない
感じがします。しかし、よくここに作ったという気は
します。本を読むコーナー、飲み物のコーナーなどが
良いと思います。来た人は疲れていますから。
- ◎ 5月3日 加古川市志方町 (女)
実際に触れてみる事が出来る箇所が多くあったの
がよかったと思います。
- ◎ 5月4日 神戸市長田区片山町 (男)
ホーミーなどが聞かせていただければよかったと思
います。
- ◎ 5月4日 京丹後市網野町 (女)
はく製は反対です。
- ◎ 5月4日 向日市寺戸町 (男)
『モンゴル』の博物館は、そうないのでおもしろい。
- ◎ 5月4日 福知山市かしの木台 (女)
切り絵とか楽しかった。ゲルの中にも入れて良く分
かりました。(モンゴルの暮らし)
- ◎ 5月4日 東大阪市吉松町 (女)
お茶の試食があると大変よろこばしいですね。子供
の料金をタダにしてほしい。館の中を楽しくみました。
- ◎ 5月4日 東大阪市吉松町 (男)
モンゴル出身の力士との交流を深めてほしい。(モ
ンゴル力士の相撲大会等)
- ◎ 5月4日 姫路市広畑区 (女)
モンゴルの歴史がとても分かりやすく、よかった
です。
- ◎ 5月5日 豊能郡豊能町 (女)
とても興味深かったです。
- ◎ 5月9日 京都市伏見区 (女)
モンゴルの大草原、広い大きな空にあこがれていま
す。そんなポスターがほしかったです。ぜひ売り場に
おいてください！
- ◎ 5月10日 (女)
仏像に説明がもう少しあれば良かった。
- ◎ 5月17日 川西市久代 (女)
また来ます！！
- ◎ 5月22日 出石郡但東町 (女)
コンピューター楽しいね。本もいっぱいあるし。
- ◎ 5月27日 加古川市屋上町 (男)
物産を置くと良い。現代食文化。
- ◎ 5月29日 大阪市阿倍野区 (女)
すばらしかったです。近くへきてはじめて知りまし
たが、もっと多くの人に知ってもらいたいです。留学
生やモンゴル人と日本人の生きた交流の場になります
ように。

- ◎ 5月30日 養父市(女)
気持ちがなごみました。
- ◎ 5月30日 養父市(女)
初めて見て、とってもこまかい仕事にびっくりでした。良い目のほうようささせていただきました。
- ◎ 5月30日 茨木市天王町(女)
なんかとってもほんかくてきでおもしろかったです。いしょうなどもとてもよくできていました。
- ◎ 6月12日 神戸市西区(女)
思った以上に楽しかった!服を着れたり、ゲルの中もかわいかった。館内もきれいでとても満足です。
- ◎ 6月12日 神戸市(女)
ゲル、モンゴル民族衣装でおおいに盛り上がりました。但東町での所で台所・土間にあがれてじっくり見る事ができ、大変良かった。普通はそんなこと出来ないの・・・御人形の箱がきになった。
- ◎ 6月13日 高槻市芝生町(女)
民族衣装とむかしの家がおもしろかったです。
- ◎ 6月13日 高槻市川添
民族衣装の服がとてもよかったです。
6月13日 高槻市川添
- ◎ 民族の衣装はとてもよかったです。
6月14日 鎌倉市笹目(女)
知らなかったが、姉が3回程来ていて連れてきてもらいよかったですと思う。
- ◎ 6月14日 小野市菅田町(女)
博物館としては充実していたと思った。
6月17日 出石郡但東町(女)
またいきたいです。
- ◎ 6月17日 大阪市(男)
とってもたのしかったでー。またいくでー。ゲルがすごくて、ほんまほしいわあー。
- ◎ 6月19日 城崎郡日高町(女)
モンゴルの歴史が良くわかりました。衣装を着用できてよかったです。
- ◎ 6月20日 東大阪市北石切町(女)
但東町水石出身ですが、やはり生まれ育った土地はいくつになってもいいですね。今日はお知り合いの人を案内してきました。
- ◎ 6月20日 城崎郡香住町(女)
会場が広くて順路もわかり易く、見学し易かった。ゲルの中が大変印象深かった。
- ◎ 6月20日 豊岡市百合地(女)
モンゴルの衣装を着ることが出来て楽しかったです。
- ◎ 6月21日 出石郡但東町(男)
もっと本をふやしてほしい。
- ◎ 6月21日 出石郡但東町(男)
冒険の小説をもっと増やしてほしいです。
- ◎ 6月22日 高砂市金ヶ田町(男)
スーホの白い馬の話の1コマ1コマが長すぎるのでもうちょっと編集してほしい。
- ◎ 6月22日 加古川市野口(女)
織りを体験したかった。
6月26日 出石郡但東町(女)
おもしろかったです。ヤギもめっちゃかわいかった。小屋もかわいかった!!
- ◎ 7月1日 加西市東笠原町(女)
県下にこんな立派な博物館があるのを一人でも多くの方にPRできればと思います。
- ◎ 7月1日 加古川市西神吉町(女)
県下に住みながら無知でした。館長様のPRもよかったです。訪れた人々からのPRも必要かと思いません。山間のたたずまい、とても心のゆとりを覚えました。ありがとうございました。
- ◎ 7月1日 明石市太寺大野町(男)
もっとPRされてはどうでしょうか。私もPRします。
- ◎ 7月1日 高砂市(男)
立派、多彩、素晴らしいひとときでした。
- ◎ 7月3日 相楽郡加茂町(女)
ゆっくりみることができました。もう少しみんなにPRするといいですね。
- ◎ 7月5日 宍粟郡山崎町(男)
モンゴルの情報やイベント情報、また教えて下さい!
- ◎ 7月4日 三田市乙原(男)
モンゴルに行きたい。ホームーが聞きたかった。
- ◎ 7月9日 神戸市東灘区本山北町(女)
近くて遠い国のイメージがあり、わからない国の1つであったモンゴルの様子がわかってとてもよかったです。実際にとても行きたくになりました。モンゴルのお菓子やお茶を頂けるスペースがほしいです。
- ◎ 7月13日 与謝郡伊根町(男)
今横綱の良い成績を展示できませんか(朝青龍)
- ◎ 7月17日 伊丹市荒牧(女)
モンゴルの歴史から現在の文化、生活を知る事が出来て楽しかった。ゲルの中に入れたりするのも体験できてよかったです。さをり織りが大変きれいなので販売していたらいいのと思った。
- ◎ 7月18日 西宮市上大市(男)
読み物より、見る、聞くがよくわかる。
- ◎ 7月21日 出石郡但東町(女)
モンゴル館の人達(職員さん)の対応が良かった。
- ◎ 7月25日 与謝郡野田川町(男)
地球、モンゴルの歴史が要領よくまとめられ、モン

モンゴルの人たちの生活と文化が丁寧な日常生活の視点から展示されていて、臨場感があり親しみ易い展示でした。

- ◎ 8月7日 西区(女)
モンゴルのこと、少し知っていたけど、もっといろんなことが分かって楽しかったしよかったです。
- ◎ 8月9日 和泉市肥子町(男)
モンゴル、内蒙古の青銅器時代の資料は、日本では数えるほどしか展示されている場所がないので貴重なコレクションである。解説、コレクション共に一層の充実をお願いしたい
8月13日 西宮市薬師町(女)
モンゴルの家「ゲル」の中に入ってみてモンゴルの家の仕組みがよく分かった。プレーリードックもみて、モンゴルのことがよく分かった。
- ◎ 8月14日 京丹後市久美浜町(男)
順路が分かりやすかった。
- ◎ 8月14日 神戸市東灘区本山北町(女)
お食事のとれる所があればいい。
- ◎ 8月14日 大阪府(女)
環境がよかった。
- ◎ 8月14日 綾部市位田町(男)
赤坂の現場へ行ってみたい。
- ◎ 8月14日 大阪府(女)
一人で来場したがおもしろかった。モンゴルにはまっている。ぜったい行きたい。
- ◎ 8月14日 神戸市東灘区(男)
世界一小さな水族館・・・ザリガニ、ゲンゴロウとかもあってもよいのでは？
- ◎ 8月19日 神戸市東灘区(女)
ゲルの中が良かった。プレーリードックがかわいかった。
- ◎ 8月21日 朝来郡生野町(女)
スーホの白い馬の映画がおもしろかった。
- ◎ 8月23日 出石郡但東町(男)
とてもおおかみのかわがこわかったけど、いい作品ですごいと思いました。
- ◎ 9月2日 神崎郡市川町(男)
日本からモンゴル(ウランバートル)までの空路、片道運賃、1トウグルクは何円ぐらいか掲出してほしい。
- ◎ 9月19日 蒲生郡日野町(女)
モンゴルの民族衣装やゲルの展示がされていておもしろかったです。衣装を着れたのが良かったです。
- ◎ 9月20日 豊中市服部元町(男)
寛永通宝が寛永通楽と書いてあった。
- ◎ 9月21日 京都市西京区(女)
ゲルの中に入れて、モンゴルの人の生活の様子が分かって良かったです。モンゴル料理とかも興味を持ち

ました。

- ◎ 9月21日 和泉市松尾寺町
モンゴル、但東町のことが更に詳しく分かって大変よかったです。
- ◎ 9月22日 大阪市淀川区(男)
地域密着型で大変興味を持った。
- ◎ 9月27日 奈良市西登美ヶ丘
出石、やまびこ、シルク温泉、皆対応が親切で非常に気持ちよかったです。当館では、じっくり勉強できた。有難う。
- ◎ 10月1日 加古川市神野町(女)
モンゴル民族博物館だけあり、多数の資料が展示されて良かったです。実際にモンゴルに行きたい気分になりました。
- ◎ 10月1日 都島区片町(女)
モンゴルの衣装が着れてよかった。
- ◎ 10月3日 養父市八鹿町(女)
とても広い！分かりやすかった。
- ◎ 10月3日 養父市八鹿町(女)
学校の調べ学習のために来ました。大変参考になりました。
- ◎ 10月5日 篠山市向井(男)
何辺か但東方面史跡探訪にきました。山深いのは丹波も同じこと。地方のよさを發揮して下さい。
- ◎ 10月11日 養父市川原場(女)
子供達の興味を引き出すような展示、会館の設備で大変すごしやすいひとときでした。
- ◎ 10月16日 城崎郡香住町(女)
先日馬頭琴コンサートを聴き、今日初めて本物を見せて頂きました。生活の厳しさの中にも、素晴らしい音楽で楽しんでいる現地の人を思い浮かべます。
- ◎ 10月17日 京田辺市(男)
京阪神より少々遠いけれど、新しいトンネルや高速などの交通も整備されたのでやや近く感じられる。TVやラジオ、新聞、ポスター等で貴館をもっとアピールすべし。
- ◎ 10月17日 氷上郡春日町(女)
大変楽しく見せてもらいました。モンゴルに興味を持ちました。ありがとうございました。これからも頑張ってください。
- ◎ 10月17日 綾部市(女)
寺院の展示が特に興味深かったです。
- ◎ 10月17日 東大阪市三島町(男)
モンゴルの民族料理等が味わえるレストランなんかがあると良いと感じました。ちょっとした喫茶室なんかでもあると大分違うと思うので、よろしければご一考ください。

- ◎ 11月7日 明石市松の内(女)
モンゴルの事はあまり知らなかったがいろいろ民族博物館で知って良かったです。
- ◎ 11月21日 加古川市平岡町(男)
珍しい物が有り、知人にも知らせたい。
- ◎ 11月22日 金沢市(女)
とてもきれいでびっくりした。こういった博物館は永く残して行って欲しい。
- ◎ 12月10日 磯崎市川西町(女)
ブレイドックにあえなくて残念でした。土の中でお休み中でした。
- ◎ 12月19日 大和郡山市北西町(女)
7人の小人とモンゴルはどういう関係なんですか？
- ◎ 12月25日 美方郡村岡町(男・女)
入館料500円は高い。
- ◎ 1月10日 大東市中垣内町(女)
子供連れでも楽しめるように、モンゴルのおもちゃが実際にさわれるコーナーとか作って欲しいです。
- ◎ 1月31日 豊岡市祥雲寺(男)
こどもが2年生になるたびに来ています。とても勉強になっているみたいで良いと思います。
- ◎ 2月6日 京丹後市久美浜町(女)
ゲルとかは、めったに入れないので入れてよかったです。
- ◎ 2月6日 京丹後市久美浜町(男)
スーホの白い馬などが大変良かった。
- ◎ 2月6日 養父市八鹿町(女)
楽しかった、おもしろかった、動物がもっといてほしい。
- ◎ 2月6日 養父市八鹿町(女)
楽しかったです。もっとさわれるものがあるといいです。
- ◎ 2月6日 豊岡市塩津町(女)
モンゴルのことをいっぱいしました。
- ◎ 2月13日 朝来郡山東町(女)
色々なことが分かったので、うれしかったです。お仕事ご苦労様です。
- ◎ 2月15日 尼崎市開明町(女)
相撲で大勢の人たちを見ていて、一度民族の事を知りたくて来ました。同じアジアの人でも、暑さ、寒さにたえてがんばっておられる様子がわかりました。
- ◎ 2月15日 丹波市市島町(女)
市場小学校2年生と一緒に楽しかった。
- ◎ 2月20日 養父市(女)
スーホの白い馬が教科書にのっているとおりでした。楽しかったです。本物の馬頭琴が見れてよかったです。
- ◎ 2月26日 京丹後市弥栄町(女)
たんたんトンネルを通ってきました。分かれ道がた
- くさんあって迷いました。
- ◎ 2月26日 東大阪市(男)
皆が民族衣装の写真を撮ったが、バック風景を考えると？
- ◎ 2月27日 養父市(女)
こどもの国語で「スーホの白い馬」を読んでいたの
- で、実際に馬頭琴を見たり音色を聞くことができ、とても良かった。
- ◎ 3月3日 神戸市(男)
説明者が居られればもっとよかったです。
- ◎ 3月6日 与謝郡岩滝町(女)
たいへんよかったですし、スーホの白い馬の話がすごくおもしろかった。
- ◎ 3月6日 丹波市市島町(男)
めずらしく色々参考になった。
- ◎ 3月6日 和歌山市和歌川町(男)
ゲルの中に入ることが出来とてもよかったです。馬頭琴のお話も勉強になりました。
- ◎ 3月6日 有田郡湯浅町(男)
歴史を勉強できて大変良かった

8. 施設概要

(1) 本館建築概要

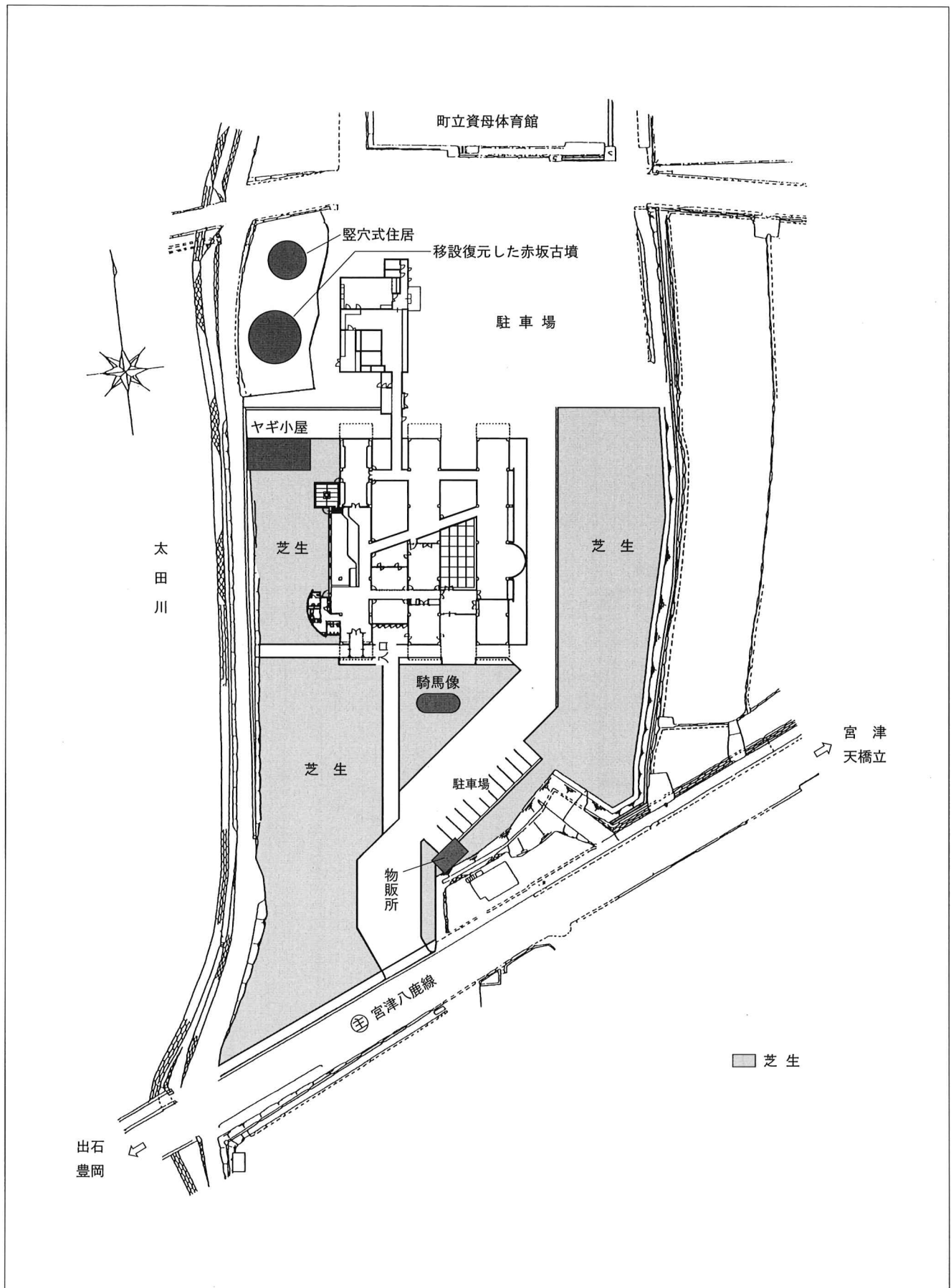
位 置	兵庫県豊岡市但東町中山71
基本設計	建物 井上良一建築設計事務所 展示 株式会社さんよう
実施設計	建物 井上良一建築設計事務所 展示 株式会社さんよう
工事施工	建物 川嶋・井田・マルテン特別共同企業体
工 期	展示 株式会社さんよう 建物 着工 平成7年12月14日 竣工 平成8年8月12日 展示 着工 平成8年5月7日 竣工 平成8年10月30日
敷地面積	0,402.84㎡
建築面積	999.65㎡
構造概要	鉄筋コンクリート造 フッ素樹脂塗装鋼 板瓦棒葺 立体トラス鉄骨 (KTトラス)
各室面積	玄関ホール・たんとうの森 211.6㎡、 国際理解学習室 56.5㎡、 荷解室 33.3㎡、 事務室 33.3㎡、 館長・応接室 28.0㎡、 準備室 48.2㎡、 展示室「東南アジアの歴史」 75.7㎡、 展示室「モンゴル草原の暮らしと文化」 206.8㎡、展示室「チベット仏教」37.7㎡、企 画展示室 74.4㎡、 シルクロード(回廊)1 13.3㎡、 シルクロード(回廊)2 13.3㎡、 シルクロード(回廊)3 12.6㎡、 シルクロード(回廊)4 12.6㎡
建築規模	平屋建て 東西41.8m 南北42.5m 地上高 9.0m
仕 上 げ	<外装>復層吹付 <内装>床 : モルタル下地タイルカーペッ ト貼 壁 : 山本窯業化学テラックス、 石膏ボード、化粧合板 天井: 杉小幅板、岩綿吸音板貼り

(2) 伝承文化体験交流館建築概要

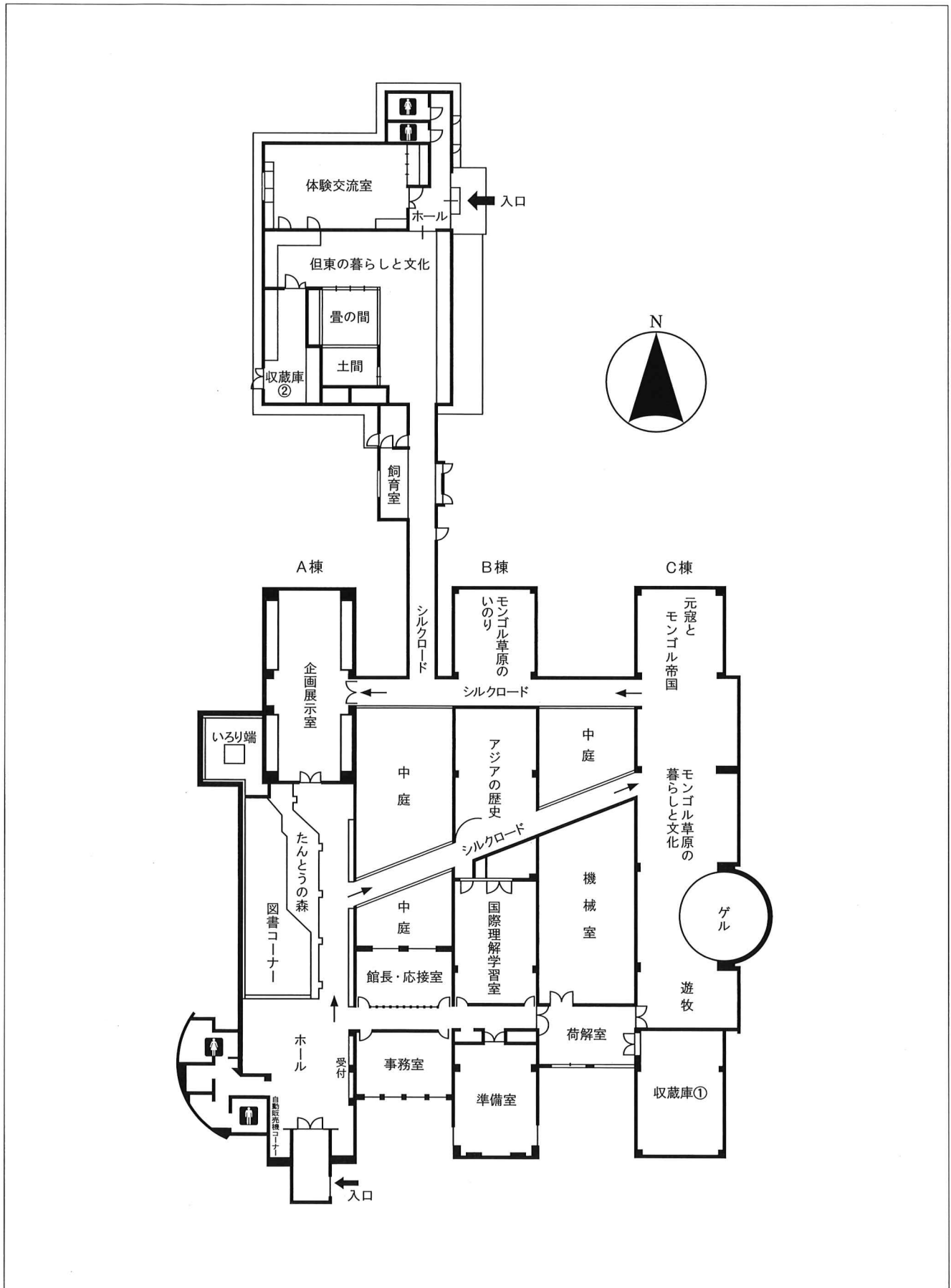
位 置	兵庫県豊岡市但東町中山711
基本設計	建築・展示 井上良一建築設計事務所
実施設計	建築・展示 井上良一建築設計事務所
工事施工	建物 株式会社マルテン 展示 株式会社ナギサ建築工芸
工 期	建築・展示 着工 平成11年9月14日 竣工 平成12年3月29日
建築面積	317.57
構造概要	一部鉄筋コンクリート造 木造瓦葺
各室面積	体験交流室 62.6㎡、 展示室「但東の暮らしと文化」112.5㎡、 シルクロード(回廊)5 36.4㎡、 収蔵庫 27.2㎡
建築規模	平屋建て 東西 12.80m 南北21.17m 地上高 7.05m
仕 上 げ	<外装>押出成形セメント板 <内装>床 : モルタル下地タイルカーペッ ト貼 壁 : ビニルクロス貼り 一部杉板 張 天井: 化粧PB張一部杉板張



(3) 配置図



(4) 平面図



9. 利用案内(平成16年度)

開館時間 9時30分から17時まで
 (入館は16時30分まで)
 水曜日(5月3日は開館)
 年末年始(12月28日～1月4日)

休館日 展示替え及び燻蒸による臨時休館
 一般 500円(450円)

観覧料 高校・大学生 300円(250円)
 小学・中学生 200円(150円)

※カッコ内は20名以上の団体の場合

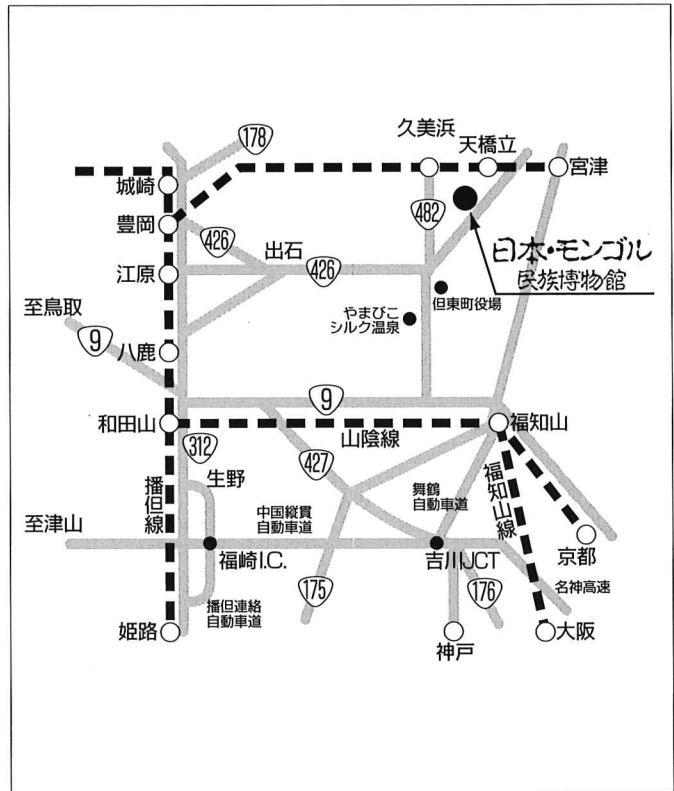
観覧料の減額

- 但馬ファンクラブ(一律100円の減額)
- JAF協会(一律50円の減額)
- 65歳以上のかたは観覧料の半額
- 身体障害者(介助者を含む)のかたは観覧料の半額
- 兵庫県内の小学・中学生はココロンカードの提示により無料
- 兵庫県内の小学・中学生に引率する教員は無料
- 但東町民はすべて無料

10. 交通案内



但東町位置図



アクセス・マップ

あ と が き

■ 平成16年度は夏の天候不順や10月の台風災害など、本当にいろいろな事があった年でした。館内の展示ケース内に雨水が入り、修繕工事が完了するまで資料が展示できないこともありました。また、市町合併を翌年に控え、とにかくバタバタと慌しく過ぎた感じがします。

個人的には、但東町国際交流協会のモンゴル訪問団に参加させていただき、見聞を広めることができました。日ごろお世話になっている方々にもお会いすることができ、普段疑問に思っていたことなども体験し、理解することができました。本当に充実した訪問になりました。この年はモンゴル人研修生が博物館で研修を行ったり、ゴビの馬頭琴奏者にお会いできたり、いろいろな方との出会いがありました。

まだまだ勉強不足な職員として、多くの方にご迷惑をおかけしています。各方面で当館の運営を支えてくださった皆様、本当にありがとうございます。この博物館を少しでも多くの方に見ていただき、この場所にこの施設がある意味を感じてもらいたい、そう考えています。今後ともご指導賜りますよう心よりお願い申し上げます。

(山本龍馬)

■ この4年間、多くの人々に出会い、いろんなことを学ぶ機会を与えていただき、私の小さな器は随分と充実したように感じる。

特に印象深いのは、館長の博物館に寄せる熱い思い、博物館は変わらなければならないという積極的な行動と、持論は県下はもとより多くの博物館や美術館に新たな刺激を与えられたものと思う。また、博物館を取り巻く地域の人々の応援。但東町にとって博物館は大きな情報発信基地であるとともに、今失われかけている人の心を取り戻すための休息の場所としても、地域にとって重要な位置にある。博物館に足を運ぶことは決して無駄なことではない。一時の心の充電が少しでも疲れを癒してくれるであろう。

学術や芸術、文化施設の運営には非常に厳しいものがあるが、利用者の声を聞く限り他の博物館にない評価を受けていることは、大いに自信を持って働けるところだと思う。

かつて国策による分村、今は合併、但東町も50年の歴史を閉じた。大づかみな地方の時代がスタートしたが、決して末端の地方が忘れられてはならない。

小さな町に生まれた小さな博物館は日本全国にこの地を紹介し続けている。学習施設の維持には金がかかるが、戦後復興を担ったのは、多くの地方出身者であった。いまや古里は過疎に陥り中央の目も声をかけなければ向けられようとしな。合併により決してこのようなことのないよう地方に主眼を置いていただきたいものだ。買うに買えない人づくりの場、地域そのものがミュージアムのようなこの街で、より多くの人々が快適に学習できる環境を提供するために。

(高木義彦)

■最近、時の流れの早さを感じるようになった。モンゴルからの研修生受け入れは5ヶ月以上にも及んだが、毎日が瞬く間に過ぎてしまった。研修生に初めて会ったのは暑い時だったが帰る時には吐く息も白く、この地では雪もちらつく季節になっていた。毎日職場で一緒に過ごし、さらに、毎週の休館日には決まって一緒に買い物に出掛け、ついでにあちこち見て回ったり・・・時間のやり繰りが大変だったが、楽しい時を過ごした。時には感情をぶつけ合うまでの仲になっていた。仕事を離れ友達感覚で接した時間が、今は遠い日のように思えてくる。彼女からはたくさんのことを学び、モンゴルがさらに近いものとなった。

その後、寂しさを感じる間もなく出前授業のラッシュを向かえた。教室では、目を輝かせている子ども達が待っている。モンゴルの話をしながら彼女のことを思い出し、これまでよりも厚みのあるモンゴルの話も伝えられたかなと、自分へ問いかけてみる。

来年度は、合併に伴い様々な制約が出てくるかもしれないが、この“モンゴルの出前”をこれからも届けたい。
(渡辺律子)

■博物館にお世話になって早や4年の月日が、過ぎていきました。

この間に、館長はじめ山本さん・高木さん・渡辺さんにいろいろな事を教えて頂いた。教えて頂いた事が完全にこなせるかという点、『それなりに…』という私のやり方で皆さんには、かなり迷惑をかけていたと思われる。この場をおかりしお詫び申し上げます。

さて、数ある博物館事業（博物館教室・出前授業等）の中で、好評なのが出前授業だと感じている。特に、16年度の出前授業は多くの依頼があり、私も微力ながらいろいろな学校に出前授業に行かせて頂いた。『私も少しは慣れてきたかな』等と油断をしていると、思いもかけないような質問が子供達からあり、「うーん」と考え込んでしまう場面もあった。

硬くなっている頭を柔軟にさせて、より多くのいろいろなことを吸収できるよういつまでも、努力していくことが大切だと痛感した。

(柴田明子)

日本・モンゴル民族博物館年報第8号

Japan Mongolia Folk Museum
No.7 (for the fiscal years of 2004)

〒668-0345 兵庫県豊岡市但東町中山711
711Nakayama, Tanto-Town, Hyogo 668-0345 JAPAN

TEL (0796) 56-1000

FAX (0796) 56-1022

URL : [http://www3.city.toyooka.lg.jp/
monpaku/index.html](http://www3.city.toyooka.lg.jp/monpaku/index.html)

E-mail : monpaku@city.toyooka.lg.jp

発行／日本・モンゴル民族博物館

平成18年3月31日発行

印刷／(有)稲葉印刷

〒669-6115 兵庫県豊岡市城崎町来日216-4

TEL (0796-32-2220) FAX (0796) 32-3352